

## Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain

### 病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けています。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第66期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)は、積極的な情報提供活動を進め主要新製品の売上増加により微増収となりましたが、製品別の売上構成の変化による売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加により、減益となりました。

国内の医薬品市場においては、新薬創製成功確率の低下や研究開発費の増大に加え、医療費抑制政策の強化が進むなど、厳しい環境が続いています。このような事業環境のなか、当社は、新薬開発型医薬品企業として持続的な発展を実現するために、開発パイプラインの拡充、海外展開の推進に取り組むとともに、企業基盤の強化に努めています。

なお、当社は、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示によりグローバルでの比較可能性を高め、ステークホルダーの皆さまの利便性向上を図るために、平成26年3月期決算から国際会計基準(IFRS)に基づく業績発表に移行しました。



## 開発パイプラインの拡充

持続的成長のためには、開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出していくことが不可欠です。当社独自の創薬手法および世界最先端の技術の活用によってスピーディーな自社創薬を進めるとともに、新薬候補化合物を取り入れるライセンス活動にも注力し、今後も継続的な新薬上市に繋がる開発パイプラインの拡充に努めます。また、臨床試験では有効性と安全性を早期に確認し、新薬開発のスピードアップにも努めます。

## 海外展開の推進

自社創製の新薬を世界中にお届けできるよう、海外での臨床開発を推進するとともに、海外提携企業への導出を通じ、自社創製化合物の早期の上市を目指してグローバルな事業展開を進めます。また、抗がん剤などスペシャリティー製品については自社販売を見据え、海外現地拠点の強化に取り組みます。

## 企業基盤の強化

グローバルレベルでの競争力向上のため、人財の育成と活性化に努めます。また、多様性の向上や社内外の連携強化により、さまざまな環境変化への対応とイノベーションの実現を図ります。さらに、企業理念と行動規範に基づいたCSR活動の一層の充実に取り組みます。

わたしたちは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



1968年(昭和43年)に中央研究所(現在の水無瀬研究所)の建設を記念して建立された石碑。  
小野薬品の企業理念がここに刻まれています。

代表取締役社長 相良 暁